

# 長野県森林づくり県民税活用事業（長野地域振興局分）

## I 令和4年度実績（+令和3年度実績）

### 1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備

#### ■ みんなで支える里山整備事業

未整備の里山において、防災・減災や森林の多面的な利活用を図るための間伐等の森林整備やライフライン等周辺の危険木処理の支援を行っています。

#### （1）防災・減災のための森林整備（補助率：9/10以内）（単位：円）

所 在 市 町 村	事 業 主 体	令和3年度実績		令和4年度実績	
		整備内容	補助金額	整備内容	補助金額
長野市	長野森林組合	保育間伐	5,383,800	保育間伐	2,862,000
〃	(特非)信州フォレストワーク	保育間伐	445,500	—	—
〃	北信木材生産センター(協)	搬出間伐等	1,964,700	—	—
千曲市	長野森林組合	保育間伐	2,146,500	保育間伐	1,017,900
坂城町	長野森林組合	—	—	保育間伐	1,706,400
高山村	黒部区	搬出間伐作業路	3,159,900	—	—
〃	長野森林組合	保育間伐	2,885,400	保育間伐	1,543,500
信濃町	長野森林組合	搬出間伐	933,300	—	—
小川村	長野森林組合	保育間伐	3,745,800	保育間伐	3,272,400
〃	(企)山仕事創造舎	保育間伐	1,856,700	—	—
〃	(特非)信州フォレストワーク	—	—	保育間伐	117,900
計			22,521,600		10,520,100

#### （2）ライフライン等保全対策（補助率：9/10以内）（単位：円）

所 在 市 町 村	事 業 主 体	令和3年度実績		令和4年度実績	
		整備内容	補助金額	整備内容	補助金額
千曲市	千曲市	危険木伐採	2,205,000	—	—
小川村	小川村	危険木伐採	585,000	危険木伐採	500,000
計			2,790,000		500,000

#### （3）県民協働の里山整備（補助率：9/10以内）（単位：円）

所 在 市 町 村	事 業 主 体	令和3年度実績		令和4年度実績	
		整備内容	補助金額	整備内容	補助金額
長野市	七二会里山整備利用 推進協議会	竹林整備	258,300	竹林整備	497,700
須坂市	長野森林組合	下刈	434,700	人工造林等	1,052,100
〃	離山を守る会	下刈	31,500	下刈	90,000
千曲市	長野森林組合	—	—	修景林間整備	2,585,700
信濃町	長野森林組合	下刈	328,500	下刈	369,900
〃	(一財)C.W.ニコル・アファンの森 財団			修景林間整備	50,400
計			1,053,000		4,645,800



保育間伐（千曲市 森）



荒廃竹林整備（長野市 七二会）

## ■ 県民協働による里山整備・利用事業

長野県ふるさとの森林づくり条例に基づき「里山整備利用地域」に認定された地域での住民等の協働による里山整備や利用を促進するため、活動推進主体が行う地域活動や資機材導入の支援を行っています。

（１）里山整備利用地域活動推進事業（補助率：10/10 以内）

（単位：円）

所 在 市 町 村	里山整備 利用地域名	事 業 主 体	補 助 金 額	
			令和3年度 実 績	令和4年度 実 績
長野市	戸隠豊岡	戸隠森林整備クラブ	500,000	—
〃	浅川	あさかわの里山と森を守る会	1,197,000	—
〃	七二会2	七二会里山整備利用推進協議会	1,243,000	—
〃	信州新町信級	きぼうの森	—	1,500,000
須坂市	井上	井上城址さくらの会	660,000	468,000
千曲市	小坂山	川西地区里山整備部会	750,000	338,000
〃	一重山	一重山みらい会議	—	600,000
坂城町	上平	上平親林協働整備協議会	366,000	—
〃	中之条	中之条区里山整備協議会	480,000	574,000
信濃町	柏原上ノ原	日中友好の森林づくり推進協議会	463,000	—
〃	富が原	富が原里山整備利用推進協議会	605,000	—
計		3年度：9地域、4年度：5地域	6,264,000	3,480,000



長野市 きぼうの森



信濃町 柏原上ノ原

## (2) 里山資源利活用推進事業 (補助率: 3/4 以内)

(単位: 円)

所在地 市町村	里山整備 利用地域名	事業主体	補助金額	
			令和3年度 実績	令和4年度 実績
長野市	浅川	あさかわの里山と森を守る会	132,000	—
〃	七二会2	七二会里山整備利用推進協議会	1,125,000	—
〃	信州新町信級	きぼうの森	—	1,125,000
坂城町	中之条	中之条区里山整備協議会	287,000	—
〃	上平	上平親林協働整備協議会	—	127,000
計		3年度: 3地域、4年度: 2地域	1,544,000	1,252,000

## ■ 地域で進める里山集約化事業

里山の森林整備を推進するため、間伐計画地における森林所有者の施業同意取得や境界明確化の取組を支援しています。(定額交付)

(単位: 円)

集約化実施 市町村	令和3年度実績		令和4年度実績	
	事業主体	交付金額	事業主体	交付金額
長野市	北信木材生産センター 協同組合	234,300		—
千曲市	長野森林組合	708,000		—
計		942,300		0

## 2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

## ■ 地消地産による木の香る暮らしづくり事業

## (1) 「子どもの居場所」木質空間整備事業

児童センター等の「子どもの居場所」において、県産材によるモデル性の高い施設の木造・木質化や調度品・おもちゃの設置を支援しています。

## 木の調度品、おもちゃ等の設置 (補助率: 3/4 以内)

(単位: 円)

施設設置 市町村	令和3年度実績		令和4年度実績	
	事業主体 [設置施設]	補助金額	事業主体 [設置施設]	補助金額
長野市	(同) Mon's sun [いきいき保育園]	92,332	(学) 円福学園 [円福幼稚園]	632,500
〃		—	(学) 旭キリスト教学院 [旭幼稚園]	375,000
〃		—	(学) 学校法人和田学園 [若穂幼稚園]	375,000
〃		—	(福) 博愛会 [博愛保育園]	375,000
〃		—	(福) はなぞの会 [ころぼっくる保育園]	375,000
〃		—	長野トヨタ自動車(株) [チューカーボックス若槻店]	157,500



〃		—	(株)クボタ工務店 [こどなc a f e]	2,154,611
須坂市	須坂市教育委員会 [須坂保育園ほか2園]	738,930	(学)学校法人二葉学園 [須坂双葉幼稚園]	326,700
千曲市	長野トヨタ自動車(株) [更埴店内キッズコーナー]	157,500		—
坂城町	坂城町 [和平公園]	375,000		—
信濃町		—	信濃町教育委員会 [木育ルームなかよし]	253,299
計	4施設	1,363,762	9施設	5,024,610



長野市 ころぼっくる保育園



長野市 博愛保育園

## (2) 木工体験活動支援事業

県産材を利用して行う木工体験活動等を支援し、県産材利用の意識醸成や地消地産による森林資源の循環利用を推進しています。

### 木工体験活動支援 (補助率: 3/4 以内)

(単位: 円)

事業実施 市町村	令和3年度実績		令和4年度実績	
	事業主体 [実施箇所]	補助金額	事業主体 [実施箇所]	補助金額
長野市	(特非)信州フォレストワーク [松ヶ丘小、昭和小、古牧小]	225,000	(特非)信州フォレストワーク [中条小、古牧小]	150,000
〃	信州大学教育学部附属長 野小学校 [同小学校]	150,000	七二会小学校[同小学校]	433,000
千曲市	千曲市 [更級小]	225,000	千曲市 [大池市民の森]	245,000
坂城町	坂城町 [南条小、村上小]	305,000	坂城町 [南条小、村上小]	266,000
小布施町	小布施町 [北斎ホール]	262,000	小布施町 [北斎ホール]	302,000
小川村	小川村 [小川小]	450,000	小川村 [小川小]	188,000
計		1,617,000		1,584,000

### (3) 木づかい空間整備事業

民間事業者等のオフィスや店舗等で県民が幅広く利用する施設の内装木質化等を支援しているほか、県有施設の木質化を進めています。

民間施設等木質化支援（補助率：木質化 1/2 以内、調度品 3/4 以内）

（単位：円）

施設設置 市町村	令和3年度実績		令和4年度実績	
	事業主体 [整備施設]	補助金額	事業主体 [整備施設]	補助金額
長野市	オンサイテック(株) [森の農産物市場]	485,952	オンサイテック(株) [販売スペースの木質化]	376,750
〃		—	(有)野本商店 [店舗の木質化]	2,850,000
高山村	(株)アーマン [木製ユニットハウス]	1,826,000		—
小川村		—	胡座(あぐら)屋 [店舗・キッチンの木質化]	2,850,000
計		2,301,952		6,076,750

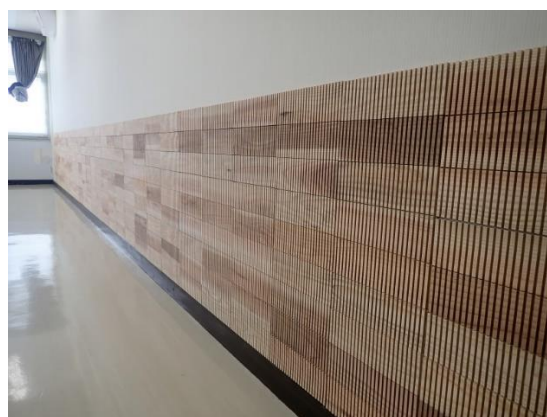
### 県有施設木質化推進（工事）

（単位：円）

施設設置 市町村	令和3年度実績		令和4年度実績	
	整備箇所	事業費	整備箇所	事業費
長野市	長野合同庁舎 総合県税事務所窓口ほか	4,972,000		—



総合県税事務所壁面



長野合同庁舎5階会議室

### (4) 県産材公共サイン整備事業

観光地等に設置する県産材を活用した案内サイン（英語併記）等の設計・製作を支援しています。

（補助率：1/2 以内）

（単位：円）

施設設置 市町村	令和3年度実績		令和4年度実績	
	事業主体 [整備施設]	補助金額	事業主体 [整備施設]	補助金額
須坂市	須坂市 [臥竜公園]	403,000		—
坂城町	坂城町 [田町十王堂]	186,450	坂城町 [坂木宿ふるさと 歴史館駐車場]	95,700
計		589,450		95,700

## ■ 森林病虫害被害枯損木利活用事業

山林に放置され、有効活用されていない森林病虫害被害枯損木を木質バイオマス発電の燃料(チップ)等に資源化して利活用する取組(枯損木の伐倒・搬出・運搬、森林作業道整備等)を支援し、森林病虫害被害対策の推進を図っています。(補助率:9/10 以内)

(単位:円)

事業主体	令和3年度実績		令和4年度実績	
	実施箇所	補助金額	実施箇所	補助金額
坂城町	坂城町坂城	2,070,000	坂城町坂城(御所沢)	1,800,000
長野森林組合	坂城町 菊平・上平	8,100,000		
計		10,170,000		1,800,000



坂城町御所沢地区 着手前



坂城町御所沢地区 トラック積込

## 3 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

### ■ 学校林等利活用促進事業

学校林の活用を促進するため、手入れがされず利用困難になっている学校林の整備、学校林を活用した体験活動のための資機材導入や講師派遣に係る経費の支援を行っています。

(補助率:学校林整備 9/10 以内、資機材導入等 10/10 以内)

学校林等の整備/補助事業 (補助率:9/10 以内)

(単位:円)

所 在 市 町 村	令和3年度実績		令和4年度実績	
	対象学校	補助金額	対象学校	補助金額
長 野 市	広徳中学校	162,800	広徳中学校	162,800
〃	豊野西小学校	114,610	豊野西小学校	185,588
〃	三本柳小学校	132,800	三本柳小学校	202,800
〃	戸隠小学校	369,875	(特非) 信州フォレストワーク [松ヶ丘小]	174,158
〃	七二会小学校	56,760		—
坂 城 町		—	坂城町 [坂城小学校]	346,500
小 川 村		—	小川村 [小川小学校]	153,000
計		836,845		1,224,846

※県立学校は県直営事業(令和3年度、4年度とも要望なし)





学校林の間伐材を活用した木工作品（三本柳小学校 創立 30 周年記念行事）

## ■ 観光地等魅力向上森林景観整備事業

豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等を推進しています。（補助率：森林保全整備 9/10 以内）

（単位：円）

市町村 (事業主体)	令和3年度実績		令和4年度実績	
	実施箇所	補助金額	実施箇所	補助金額
長野市	聖山高原	1,611,900	—	—
千曲市	姨捨棚田	1,256,000	—	—
飯綱町	—	—	霊仙寺湖	1,403,000
計		2,867,900		1,403,000

## ■ 森林セラピー基地等施設整備支援事業

森林の持つ癒しの効果、病気の予防効果が科学的に認められた森林セラピー基地等の利用促進のための整備を支援しています。（補助率：森林保全整備 9/10 以内、施設整備 1/2 以内）

（単位：円）

市町村 (事業主体)	事業種目	令和3年度実績		令和4年度実績	
		実施内容	補助金額	実施内容	補助金額
信濃町	森林整備	修景林間整備	45,000	修景林間整備	144,000
	施設整備	歩道補修	447,000	歩道補修	500,000
				看板（新設）	56,000
計			492,000		700,000

#### 4 市町村に対する財政調整的視点での支援

##### ■ 森林づくり推進支援金

##### 令和4年度 森林づくり推進支援金 事業実績

市町村名	No.	事業 項目 番号	事業 名	事業費 (実績・見込み) (千円)	負担内訳		備考
					支援金 (千円)	その他 (千円)	
長野市	1	1	松くい虫被害防除事業	2,702.7	2,700	2.7	
	2	3	緩衝帯整備事業	4,215.1	3,855	360.1	
	3	3	広葉樹林造成モデル事業	1,628	300	1,328	
	計		3 件	8,545.8	6,855	1,690.8	
須坂市	1	1	松くい虫被害木伐倒駆除事業	891	868	23	
	2	2	間伐材利用の促進事業	646.8	619	27.8	
	計		2 件	1,537.8	1,487	50.8	
千曲市	1	2	木製筋工設置事業	380	380	-	
	2	2	木製ベンチの導入	400	391.5	8.5	
	3	3	里山景観整備事業	778.5	778.5	-	
	計		3 件	1,558.5	1,550.0	8.5	
坂城町	1	1	坂城町里山景観整備事業	459	459	-	
	2	1	坂城町森林景観整備事業	330	302	28	
	計		2 件	789	761	28	
小布施町	1	3	野生鳥獣の被害防止にかかる緩衝帯整備	380.1	376	4.1	
	2	2	間伐材利用のベンチの設置	110	110	-	
	計		2 件	490.1	486	4.1	
高山村	1	1	松くい虫被害木駆除事業	104.9	104	0.9	
	2	3	村内緑化事業	104	96	8	
	3	3	緩衝帯整備事業	825	640	185	
	計		3 件	1,033.9	840	193.9	
信濃町	1	2	ウッドスタート事業	588.3	588	0.3	
	計		1 件	588.3	588	0.3	
飯綱町	1	3	野生鳥獣の緩衝帯整備(倉井地区)	706.2	580	126.2	
	計		1 件	706.2	580	126.2	
小川村	1	2	薪ストックヤード設置事業	2,057.0	647	1,410	
	計		1 件	2,057.0	647	1,410	
			18 件	17,306.6	13,794	3,512.6	

注)事業項目番号

1:森林整備の推進 2:間伐材利用の促進 3:県民参加による森林づくりの促進 4:特認事業



(別記様式第 15 号)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長野市

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害防除事業
事業費 2,702,676 円 (うち支援金 : 2,700,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫被害量は依然として多く森林環境に悪影響を及ぼしていることから、森林の健全な育成と景観形成の保全のため、早急の対応を必要としている。

(2) 本事業の目的

松林健全化推進事業及び保全松林健全化整備事業の補助対象外の松くい虫被害木駆除を行い、地域課題の解消と景観形成の整備を図る。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 市内一円

(2) 対象者 市内松林所有者

(3) 実施方法 松くい虫被害木駆除 (伐倒、薬剤処理等)

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

松くい虫被害木駆除 (伐倒、薬剤処理) 900 m<sup>3</sup>

②令和 4 年度実績

松くい虫被害木駆除 (伐倒、薬剤処理) 63.456 m<sup>3</sup>



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

当年度内に被害木を処理することによって、次年度の被害拡大を防止できる。

### (2) 継続性

松くい虫による被害が軽減されるよう継続して被害木駆除を行い、被害の拡大防止を図る。

### (3) 普及性

地道に松くい虫被害木駆除を進めていく中で、松くい被害が早期に終息へ向かうよう努める。

被害木駆除を実施することで、松くい虫被害対策のPRを地域住民に対し行うことができ、緑豊かで健全な森林を広めることができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

森林づくり推進支援金で実施する被害木駆除では駆除残の処理を行うことができ、被害の拡大防止を図れている。

### (2) 課題

市内に広く散在するその他松林において松くい虫被害木駆除を進めていく中で、松くい被害の拡大に被害木処理が追いついていない。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

既存の対策事業で賄えない駆除残の被害木処理を引き続き実施し、被害の拡大防止を図る。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	長野市
------	-----

No.	事業項目	事業名
2	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業
事業費 4,215,149 円 (うち支援金 : 3,855,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題  
中山間地域の高齢化の加速や森林利活用の減少により、里山周辺に人の手が入らなくなった荒廃森林等が増え、野生鳥獣の出没が頻発している。野生鳥獣との共生を図るためには、環境整備を実施し、森林育成等も講じるとともに、人と野生鳥獣の棲み分けを図っていくことが重要である。

(2) 本事業の目的  
(1) の課題への対応方向について記載)  
手入れの遅れている里山エリアで伐採等(緩衝帯)の森林整備を進めることにより、本市において増加している野生鳥獣による農業被害や人身被害を防止する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 市内一円

(2) 対象者 里山に隣接する地域等の住民

(3) 実施方法 市内の集落・農地周辺の森林、耕作放棄地(林地化した非農地)において間伐等の森林整備を行い緩衝帯として整備

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30~令和 4 年度)

平成 30 年度	市内 18 箇所	5.22ha	令和元年度	市内 20 箇所	3.47ha
令和 2 年度	市内 17 箇所	2.01ha	令和 3 年度	市内 8 箇所	4.40ha
令和 4 年度	市内 10 箇所	6.67ha			

②令和 4 年度実績 市内 2 箇所 2.70ha



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

集落周辺に存在する身近な里山を、緩衝帯機能を持った森林として間伐等の整備することにより、野生鳥獣の出没と被害を抑制する。また、地域住民の森林に対する関心を高めるとともに、維持管理作業を行いながら地域で取組む里山整備の推進に結びつけていく。

### (2) 継続性

事業実施後の緩衝帯は、長野市緩衝帯維持管理支援事業補助金を活用するなど、地域住民の手により、緩衝帯機能の維持が図られている。緩衝帯整備による野生鳥獣に出没抑制効果を実感し、地域住民自らが森林整備を実施するなど効果が表れてきている。

### (3) 普及性

緩衝帯整備を実施した地域だけでなく、周辺の地域でも野生鳥獣の出没や目撃が減少するなどの好影響が出てきている。周辺地域でも、緩衝帯整備に対する要望が増加してきており、事業効果に期待が寄せられている。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

野生鳥獣による農作物等の被害が発生している地域で、4.40haの緩衝帯整備を行い、農地及び集落周辺の里山環境整備によって、クマ及びイノシシ等野生鳥獣の出没件数が減り、農作物被害が減少している傾向にある。令和4年度も、電気柵との併用を推進しつつ、緩衝帯(里山)整備事業実施の地域要望に応えるべく事業を継続していく。

### (2) 課題

里山環境整備により、事業実施地域での出没件数及び農作物被害は減少傾向にあるが、未整備地域では何ら変化はない。また、野生鳥獣の根本的な個体数調整も必要ではないかと考える。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



(別記様式第 15 号)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長野市

No.	事業項目	事業名
3	森林を支える豊かな地域づくり	広葉樹林造成モデル事業
事業費 1,628,000 円 (うち支援金: 300,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

伐採後の天然力を活用した森林造成の方策を確立することで、森林所有者の主伐後の選択肢を増やす。

(2) 本事業の目的

天然更新した森林を育成天然林施業のモデル林として継続的に活用する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 門沢・上ヶ屋・田野口・小鍋モデル林 約 3.0ha

(2) 対象者 市内森林所有者

(3) 実施方法

- ・市営林を皆伐し、広葉樹林化へのモデル林を設置。
- ・研究機関と連携し、広葉樹林を造成するための調査研究を行う

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

・モデル林 4 調査箇所を設置し、皆伐後の保育や更新の継続した調査の実施

②令和 4 年度実績

・調査業務委託

- －伐採前の、森林の状況調査や伐採方法の提案
- －保育手法の検討、データ整理等



門沢調査区



小鍋調査区

## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

伐採後の天然力を活用した森林造成の方策を確立することで、森林所有者の主伐後の選択肢を増やす。

### (2) 継続性

天然更新した森林を育成天然林施業のモデル林として継続的に活用する。

### (3) 普及性

市民参加型のイベントを通じ、事業のPRを行う。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

令和4年度も今後検討していくうえでの基礎的調査を行い、調査区内の木本類等の整理・特徴が正確に調査されていた。

### (2) 課題

この先も引き続き調査を実施していくものであり、更新樹種選定まではしばらく時間がかかる。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

更新判定を行う令和6年(2024年)まで調査を引き続き実施していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

須坂市

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害木伐倒駆除事業
事業費		891,000 円 (うち支援金: 868,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫被害が拡大し、森林の環境に悪影響を及ぼしていることから、森林の健全は育成と景観形成の保全のため、早急の対応を必要としている。

(2) 本事業の目的

松林健全化推進事業及び保全松林健全化整備事業の補助対象とならない松くい虫被害木を駆除し、景観形成を図る。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 市内全域 (居住地周辺を主体に実施)

(2) 対象者 地域住民及び松林所有者

(3) 実施方法 松くい虫被害木の伐倒駆除及び破砕処理

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

被害木の処理 40 本程度/年 × 5 年間

②令和 4 年度実績

被害木の処理 16 本



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

松くい虫被害の蔓延防止と森林の健全化。

### (2) 継続性

松くい虫被害蔓延防止のため、防除対策を継続していくことが重要。

### (3) 普及性

松枯れは見た目にも悪く、倒木の恐れもあることから、駆除することで普及効果は極めて高い。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

公園等の準公共施設の松くい虫の蔓延防止及び景観の維持を図ることができた。

### (2) 課題

松くい虫被害の全容を把握し、被害木の適期駆除を徹底させるため、地域住民を巻き込んでの、被害木の早期発見に傾注する必要がある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

公園等の準公共施設の松くい虫の蔓延防止のため、同程度の事業規模で継続したい。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない



(別記様式第 15 号)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

須坂市

No.	事業項目	事業名
2	木を活かした力強い産業づくり	間伐材利用の促進事業
事業費		646,800 円 (うち支援金: 619,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

当市の森林の現状として、その多くが木材資源として利用可能な時期に達しており、林業は育てる時代から伐って使う時代へと移ってきていることから、地域での間伐による森林整備とその利活用が大きな課題である。

#### (2) 本事業の目的

- ・坂田山共生の森において、作業道の路面流水による流出防止のために必要な予防治山として、間伐材を利用した「路面水切工」を設置し、流量や流速の分散を図る。
- ・搬出間伐の促進と間伐材を利用し製作したベンチを公共施設等に設置することで、広く一般に PR する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 坂田山共生の森の作業道、公共施設

(2) 対象者 地域住民と一般市民

(3) 実施方法

- ・治山事業に伴う間伐材を活用した「路面水切工」設置
- ・公共施設への間伐材ベンチの設置

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

##### ①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

- ・間伐材を活用した「路面水切工」設置 6 箇所
- ・間伐材ベンチ設置 2 台 / 年 × 5 年

##### ②令和 4 年度実績

- ・間伐材を活用した「路面水切工」設置 5 箇所
- ・間伐材ベンチ設置 6 台



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

- ・ 県産材間伐材を活用した「路面水切工」を設置することで、県産材の有効活用と普及啓発を図ることができる。
- ・ 間伐材ベンチに開設パネルを併せて設置することで、県産材の有効活用と普及啓発を図ることができる。

### (2) 継続性

- ・ 山地災害による被害を防止・軽減する予防治山としての間伐材を利用した路面流水による流出防止のため「路面水切工」の設置は継続する。
- ・ 間伐材ベンチを継続的に設置することで、間伐材の活用事例を直接かつ継続的に市民にPRすることができる。

### (3) 普及性

- ・ 坂田山共生の森を市民等が利用する際、直接目にするため、県産材間伐材の利用拡大に向けた普及効果は極めて高い。
- ・ 間伐材ベンチを利用することで、木のぬくもりを直に感じることができ、県産材利用の拡大に向けた普及効果は期待できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

県産材間伐材を活用した「路面水切工」を設置することで、降雨による流出防止に効果を発揮した。

公園等に設置した間伐材ベンチに開設パネルを併せて設置することで、公園利用者へ間伐材活用のPRができた。

### (2) 課題

地域での間伐による森林整備の促進と間伐材の木材利用推進が課題であり、地域材の活用方法を周知し利用拡大につなげるのが課題。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない

森林づくり推進支援金事業終了に伴い、事業を終了する。

(別記様式第 15 号)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

千曲市

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	木製筋工設置事業
事業費		380,000円 (うち支援金: 380,000円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

降雨による林道への土砂流出が度々発生しており、車両の通行に支障が出ている。

(2) 本事業の目的

木柵を設置することにより、林道の強靱化を図り安全な車両の通行ができるとともに木材の利活用のPRや普及を図る。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 千曲市大字戸倉 (林道北山線)

(2) 対象者 千曲市民

(3) 実施方法

県産材を利用して簡易木柵を設置する。

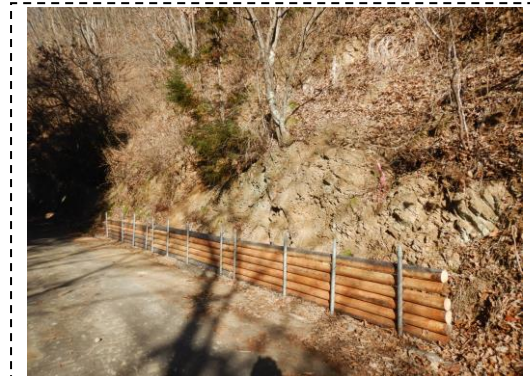
(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 4 年度)

38 万円

②令和 4 年度実績

38 万円



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施による効果

林道の強靱化を図ることができ、さらなる森林整備の活性化につながることができた。

### (2) 継続性

市内全域の林道において土砂流出の可能性のある場所に順次設置をしていく。

### (3) 普及性

林道を通行する際に直接整備箇所を把握することができ、木材の利活用をPRすることができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

土砂流出の多発地点に木柵を設置することができ、円滑な車両の通行が実現できた。

### (2) 課題

対象範囲が広大なため完了まで時間(複数年)がかかる。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

予算の範囲内で実施

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

千曲市

No.	事業項目	事業名
2	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	市の施設等への木製ベンチの導入
事業費		400,000円 (うち支援金: 391,500円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫被害防除のため伐倒駆除及び燻蒸処理を行っているが、燻蒸処理後に放置される被害材が景観を悪くしている。

(2) 本事業の目的

松くい虫被害材を利用した木製ベンチを市営施設に設置し、被害材の有効活用を図るとともに市民等に対して間伐材等の利用の普及・啓発を行う。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 市の施設等 (大池自然の家、市内バス停)

(2) 対象者 地域住民

(3) 実施方法

間伐材を利用したベンチを作成し市内の公園等施設に設置をする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

4 基×5 年=20 基

②令和 4 年度実績

5 基 (松くい虫被害材を活用) (大池自然の家 2 基、市内バス停 3 基)



### くつろぎベンチ

このベンチは長野県森林づくり県民税 (森林税) 活用事業により松くい虫被害材を使用し製作しました。

材料は千曲市桑原の林道佐野山線沿いのアカマツで、松くい虫により枯れた木を製材しベンチにしました。

くつろぎベンチで、善光寺平や棚田の風景を見ながら、どうぞゆっくりおくつろぎ下さい。

## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

松くい虫被害木の有効活用を図ることができ、解説パネルを合わせて設置することで、市民への普及・啓発に寄与することができた。

### (2) 継続性

市内の施設に計画的に設置できた。

### (3) 普及性

設置したベンチが被害材を利用したものと分かるよう看板を置いたり、HP等でPRを行った。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

市内の循環バスの停留所に松くい虫の被害木を利用した木製ベンチを5基設置した。

### (2) 課題

- ・被害木について搬出し易い箇所を選定しないと製作費用が嵩んでしまう。
- ・製材に適した被害木の選木が必要。

### (3) 今後の取組方向

- 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

松くい虫被害木を活用したベンチ 5基

- 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

- 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	千曲市
------	-----

No.	事業項目	事業名
3	「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業	千曲市森林づくり推進支援金活用事業（里山景観整備事業）
事業費		778,500円（うち支援金：778,500円）

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

地域の高齢化や若者の関心の低さが関していると思われるが、手入れが行き届いておらず、森林の荒廃化が進んでいる。

(2) 本事業の目的

里山の景観・森林機能向上や野生鳥獣被害対策を目的として、森林造成事業で補助対象とならない里山の竹林整備・藪払い等の森林整備について補助を行う。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 市内一円

(2) 対象者 森林整備に取り組む団体等

(3) 実施方法

下刈り・竹林整備・藪払い等の作業について、労務費（1人1日あたり 6,000 円）の補助を行う。なお、1 団体あたりの補助金額は 60,000 円を上限とする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（平成 30～令和 4 年度）

78 万円×5 年＝390 万円

②令和 4 年度実績

77 万 8,500 円（13 団体）



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

里山景観の向上・野生鳥獣被害の軽減が図られるとともに、市民自ら作業することにより、森林への関心を高めることができた。

### (2) 継続性

事業を実施する山林のほとんどが1年では整備できない為、毎年市民の方に作業してもらうことにより市民の団結や森林への関心が高まった。

### (3) 普及性

実施場所の中には市民の目に届く場所もあるため、本事業に関して興味を持ってもらえた。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

13団体が施業を行い、延べ人数530人により、合計11.1haの里山の整備が行われた。

### (2) 課題

・応募の時点で事業内容の精査を行っているが、施業内容が対象要件に合致しなかった団体もあったことから、募集の段階で対象要件を明確に周知する必要がある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

ほとんどの団体が引き続き事業を実施する見込み。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

坂城町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	坂城町里山景観整備事業
事業費 459,000円 (うち支援金: 459,000円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

- ・松くい虫による被害が継続している。
- ・危険木がライフライン保全に影響をきたし、風倒木の発生により里山の景観を悪化させている。
- ・里山における広葉樹等の整理伐採が急務となっている。

(2) 本事業の目的

- ・被害木処理を行い、被害蔓延を防ぎ、地域の森林づくりを推進する。
- ・危険木等の処理を行い、景観向上及びライフラインの保全を行う。
- ・整理伐採が必要な広葉樹等を伐採し、森林の健全な保全管理を行い、伐採した木材は、きのこの原木材として有効活用する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 坂城町大字南条、大字上平

(2) 対象者 地域住民

(3) 実施方法 町内の団体及び区に対して、松くい虫被害木の処理、景観及びライフラインへの危険木等の除去、広葉樹林の整理伐採等に要する経費を助成する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度)

- ・被害木 100 本
- ・危険木 20 本
- ・広葉樹等 50 m<sup>3</sup>

②令和 4 年度実績

- ・被害木 40 本
- ・危険木 8 本
- ・広葉樹等 6.5 m<sup>3</sup>





## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

松くい虫の被害木の処理を行うことで、蔓延を防ぎ、森林の健全化を図り、土砂災害を防ぎ、水源の涵養機能の維持増進につなげる。また、危険木等を除去することで、ライフライン等を保全し、里山の景観を向上させることができる。

伐採した木材をきのこの原木として利活用することで、森林資源の有効活用ができる。

### (2) 継続性

地域住民が参加することによって、自らの里山を守る自覚が促され、事業の継続性と発展性が期待できる。

### (3) 普及性

松林の健全化により、景観の保全と松茸の産出で事業の効果が県民に対し視覚的に確認できる。また、ライフライン沿いの危険木等の除去により安全が確保される。

地域の里山で伐採された原木を利用した、きのこを販売することで県民に対し効果をアピールする

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

令和4年度は、被害木20本の処理計画に対し、40本の実績となった。また、危険木等の処理計画は昨年に達成しているが本年も8本の実績がある。広葉樹整理伐採計画についても昨年までに達成しているが、本年も6.5 m<sup>3</sup>の実績となり、地域住民の積極的な参加による景観整備が進んでいる。

### (2) 課題

昨年同様、松くい虫被害は継続している。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

平成30年～令和4年までの5ヵ年において、目標とする事業量については達成している。令和5年度から森林づくり推進支援金事業の廃止に伴い、本事業は終了する。

# 令和4年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

坂城町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	坂城町森林景観整備事業
事業費 330,000円 (うち支援金: 302,000円)		

## 事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

地域の公園となっている里山において、伐倒・くん蒸処理後の松くい虫被害木の枯損木が放置されており、ウォーキングする住民の安全への不安や景観の悪化を招いている。

### (2) 本事業の目的

枯損木を搬出し、チップ化することで適正な処理を行うことで、里山の景観保全、遊歩道の安全確保を図る。

## 事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 実施場所 坂城町大字網掛

### (2) 対象者 坂城町

### (3) 実施方法 現場から松くい虫被害木の伐倒駆除・くん蒸処理後の枯損木を搬出し、工場 でチップ化する。

### (4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成30年度～令和4年度) ・ $5\text{ m}^3/\text{年} \times 5\text{ヶ年} = 25\text{ m}^3$

②令和4年度実績 ・ $6\text{ m}^3$



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

森林の景観保全と林内の安全確保とともに、枯損木のチップ化で森林資源を循環的に活用することが可能となる。

### (2) 継続性

地元の里山整備を地元業者に委託することで、関心も高まり、事業の継続性と発展性が期待できる。

### (3) 普及性

枯損木を撤去することで、森林景観を保全する。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

令和4年度は、くん蒸処理後の枯損木搬出5 m<sup>3</sup>の計画に対し、6 m<sup>3</sup>の実績となり、計画達成した。

### (2) 課題

くん蒸処理後の枯損木は、町内のいたるところに存在しており、景観悪化につながっている。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和4年度は、計画を超える6 m<sup>3</sup>の処理を実施したが、里山を中心に今後も引き続き実施して行く。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

令和5年度の森林づくり推進支援金事業の廃止により、従前同様の事業継続は困難であるため、財源の確保等の課題を解決しつつ事業継続を検討していく。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

小布施町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	野生鳥獣の被害防止にかかる緩衝帯整備
事業費		380,145 円 (うち支援金: 376,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

高山村や中野市との境にある雁田山は、山麓が集落等と隣接しているため、地域の人々の生活に深くとけこんでいる。しかし、近年、林業の衰退及び急傾斜地であることから間伐などの森林整備がほとんど行われなくなってしまい集落等に野生鳥獣が出没することがある。

#### (2) 本事業の目的

雁田山の健全な森林環境を保全するとともに、野生鳥獣と農村集落の共存・共栄のため、緩衝帯を設けるとともに里山を整備することを目的とする。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 実施場所 小布施町雁田地区

#### (2) 対象者 地域住民、事業者

(3) 実施方法 今年度は、3 年ぶりに地域住民の皆さんをはじめとした住民ボランティアによる緩衝帯整備づくりを実施する。また、例年行っている傾斜地等で住民の手では実施が困難で危険な箇所に加えて、新型コロナウイルスの影響で 3 年間実施できず雑木が成長してしまった箇所の雑木の伐採を業者委託し伐採する。

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

- ①全体計画 (平成 30～令和 4 年度) 緩衝帯整備 距離約 1,500m (各年度 300m) 幅 15m
- ②令和 4 年度実績 距離約 1,165m、幅 5m～10m



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

野生鳥獣が身を隠せる下草を伐採することで、集落等に出没しづらくなる。森林整備を近隣住民自らが行うことにより、森林に対する意識が向上する。

### (2) 継続性

近隣住民による緩衝帯整備は、平成16年度から継続して毎年実施している。下草が3～5年程度で成長してしまうため、同程度のサイクルで事業箇所を変更し実施していく。

### (3) 普及性

雁田山麓には遊歩道も整備されているが、ウォーキングやランニング等で利用する住民も多い。また、岩松院や浄光寺といった町内有数の観光スポットもあり、観光客も多く訪れている。緩衝帯整備により下草を刈ることで、森林景観も良くなり、広く事業効果を普及することができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

今年度は、3年ぶりに地域住民の皆さんをはじめとした住民ボランティアによる緩衝帯整備づくりを実施することができた。例年行っている傾斜地等で住民の手では実施が困難で危険な箇所に加えて、新型コロナウイルスの影響で3年間実施できず雑木が成長してしまった箇所の雑木の伐採を業者委託することによって、森林の奥まで見通しが良く、景観的にも良い森林環境づくりを一体的に行うことができた。

### (2) 課題

- ・地域住民等と一緒にやる緩衝帯整備づくりについては、農作物の収穫期前の整備がより効果的と考え、実施の時期について地元自治会と協議の上収穫期前に実施することができた。
- ・放っておくとすぐに下草が繁茂してしまうため、継続的な実施が必要である。

### (3) 今後の取組方向

- 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

年々、地域住民の山林に対する意識が向上してきていると考えられる。防護柵による侵入防止対策と組み合わせることにより、有害鳥獣による農作物の被害も軽減される。今後も継続して里山を地域住民と行政一体となって整備していく。

- 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

- 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	小布施町
------	------

No.	事業項目	事業名
2	木を活かした力強い 産業づくり	県産間伐材を用いたベンチの設置
事業費		110,000 円 (うち支援金: 110,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

小布施町は県内一森林面積が狭い市町村であり、林業従事者もとても少ないため林業及び県産間伐材の利用に対する意識を醸成しづらい環境にある。

(2) 本事業の目的

県産間伐材を使用している旨を刻印したベンチを設置することで、森林税や間伐材など身近な林業への関心を高める。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 小布施町内

(2) 対象者 町民及び観光客

(3) 実施方法 県産間伐材をベンチに加工できる事業者に発注。県産材をPRするため、町内の観光スポット等に設置した。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度) 県産間伐材使用ベンチ 25 基 (各年度 5 基) 設置

②令和 4 年度実績 県産間伐材使用ベンチ 2 基 設置

(小布施駅前広場 1 基、小布施町商工会 1 基)

## 設置状況



小布施駅前広場



小布施町商工会広場

長野県産間伐材使用

## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

県産間伐材利用の促進及び地元林業の担い手の育成。県産間伐材及び森林税活用のPR効果。

### (2) 継続性

町内全域にある観光スポットはその数も多く、全てに設置できずにいるのが現状である。また、住民からベンチの設置を求める声が寄せられていることもあり、効果をより普及拡大させるためには、未だ設置数が不足している。

### (3) 普及性

小布施町の各所にある観光スポット等に県産間伐材ベンチを設置することで、住民のみならず年間100万人以上訪れる観光客に対しても県産材のPRをすることができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

当町の森林は小規模所有がほとんどで、林業で生計を立てるものがないため、森林整備と併せて、いかに森林税が活用され、間伐材が利用されているか、PRすることが重要である。

### (2) 課題

県産間伐材ベンチのほかにも、間伐材のPRや活用につながる事業も検討していく。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

当町には観光に訪れる人も多いため、今後も町の施策に合致する形で、あらゆる方策に努めていく。今後の事業量として、毎年2～3基程度設置予定。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

高山村

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る森林づくり	松くい虫被害木駆除事業
事業費 104,874円 (うち支援金: 104,000円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫被害が増加し、森林の環境に悪影響を与えていることから、森林の健全な育成や森林景観を保全するため、松くい虫被害防除を行う必要がある。

(2) 本事業の目的

松林健全化推進事業及び保全松林健全化整備事業の対象とならない森林以外の箇所の松くい虫被害木を駆除し、景観の向上を図る。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 森林以外(公園等)の松林

(2) 対象者 松林所有者

(3) 実施方法 森林以外の松くい虫被害木の伐倒及び破砕処理を行った。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30~令和 4 年度) 平成 30 年度~令和 4 年度  $15 \text{ m}^3 \times 5 \text{ 年} = 75 \text{ m}^3$

②令和 4 年度実績  $2.27 \text{ m}^3$





## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

松くい虫被害蔓延の防止。森林の健全化。

### (2) 継続性

松くい虫被害蔓延の防止。森林の健全化。

### (3) 普及性

目立つ被害木の駆除により良好な景観が形成でき、今後の被害拡大防止に繋がっている。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

森林以外の松くい虫被害木の伐倒及び破砕処理ができ、景観の向上に繋がっている。

実施材積 特殊破砕 2.27 m<sup>3</sup> 実施本数 2本

### (2) 課題

全体計画(平成30年度～令和4年度)では、単年度で15 m<sup>3</sup>の伐倒を計画しているが、今後、森林以外の箇所にも松くい虫被害木が蔓延する恐れがある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

森林以外の箇所にも松くい虫被害木が蔓延する恐れがあることから、今後も15 m<sup>3</sup>程の伐倒材積を見込む必要がある。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

高山村

No.	事業項目	事業名
2	森林を支える豊かな地域づくり	村内緑化事業
事業費 103,950円 (うち支援金: 96,000円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

村民の憩いの場や子どもたちの遊び場として区集会場や公園緑地が必要であり、区集会場や公園緑地に緑化木を植栽し、自然環境と人との豊かなふれあいの場を図る必要がある。

(2) 本事業の目的

景観の維持向上を図るため、各地区区長へ希望苗木を募り、村民自らが行う緑化活動の促進を図る。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 区集会場敷地及び公園緑地等

(2) 対象者 村民

(3) 実施方法 各地区区長へ希望苗木を募り、集会場等の敷地内に緑化木を植え緑化活動を行った。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30～令和 4 年度)

令和 2 年度 大山桜、アジサイ等の苗木 77 本を配布。

令和元年度～4 年度 ドウダンツツジ等の苗木 100 本を配布。

②令和 4 年度実績 大山桜、ヤマツツジ等の苗木 87 本を配布



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

村内の緑化。住民の山林に対する意識の向上。森林税のPR

### (2) 継続性

景観の維持向上及び緑化推進が図られる。

緑化活動が進み、森林等への関心が高まっている。

行政地区単位で、緑化推進活動への関心が高まっている。

### (3) 普及性

区集会場敷地及び公園緑地等に、緑化木が増えつつあり、景観の維持に繋がっている。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

区集会場敷地及び公園緑地等に、緑化木が増えつつあり、景観の維持に繋がっている。

実施自治区 7区

緑化木苗木 大山桜7本、山ツツジ10本、ドウダンツツジ14本、アジサイ22本、  
クロモジ12本、ガクアジサイ18本、ハナモモ2本、  
キンモクセイ2本 合計87本

### (2) 課題

全自治区26区がこぞって苗木を植えることで、緑化活動が盛んになり、景観の向上及び緑化推進に繋がるが、毎年10区程の希望苗木の要望しかないことから、自治区全体で気運を盛り上げる必要がある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

毎年、緑化木を植えている区及びそれ以外の区に対して、緑化活動の大切さを周知する。

事業費 116千円

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない



## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

高山村

No.	事業項目	事業名
3	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業
事業費 825,000円 (うち支援金: 640,000円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

有害鳥獣による農作物被害が依然として減少せず、対策として有害鳥獣の捕獲や電気柵を設置し防除対策の強化を図っている。村内の恒久電気柵の総延長は 27,496m あり、地域で電気柵の維持管理を行っている状況だが、高齢化や人口減少に伴い、電気柵の維持管理作業が年々厳しくなっている状況にある。

#### (2) 本事業の目的

有害獣の被害防止にかかる緩衝帯整備を実施する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 高山村大字高井字滝ノ入

(2) 対象者 周辺農地の耕作者

(3) 実施方法 電柵進入路の刈払いを行った。

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30~令和 4 年度) 令和 2・3 年度 長さ 600m×幅 5m=3,000 m<sup>2</sup>

令和元年度~4 年度 長さ 560m×幅 5m=2,800 m<sup>2</sup>

②令和 4 年度実績 長さ 600m×幅 5m=3,000 m<sup>2</sup>



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

農作物被害の軽減及び人身被害の防止が図られた。

### (2) 継続性

持続的に緩衝帯整備を実施することで、農作物被害の軽減及び人身被害の防止が図られた。

### (3) 普及性

草木や小径木、不要な雑木を伐採することで見通しが良くなり、野生獣の潜み場をなくし、農地への出沒や侵入を抑止、農作物被害の軽減が期待できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

草木や小径木、不要な雑木を伐採したことで見通しが良くなり、野生獣の被害対策に繋がっている。

実施面積 長さ 600m×幅 5 m = 3,000 m<sup>2</sup>

### (2) 課題

全体計画(平成30年度～令和4年度)では、年間で長さ 400m×幅 5 m = 2,000 m<sup>2</sup>を計画しているが、今後、立地条件の悪い箇所に電気柵が設置してあることから、不要な雑木等の伐採に多額な経費がかかる恐れがある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

今後は令和4年度に実施した箇所の続きから整備する予定で、延長 800m×幅 5 m = 4,000 m<sup>2</sup>を計画している。ただ、立地条件によっては4,000 m<sup>2</sup>できない恐れがある。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

信濃町では、子どもをはじめとするすべての人が、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みとして、ウッドスタート事業を行っております。

## 令和4年度 森林づくり推進支援金事業総括書

No.	事業項目	事業名
	木を活かした力強い産業づくり	ウッドスタート事業
事業費 588,280 円 (うち支援金: 588,000 円)		

### 事業目的

黒姫山をはじめ北信五岳に囲まれた信濃町は、その面積の70%以上を森林が占め、森林は遙か昔から信濃町にきれいな水、澄んだ空気を恵んでくれています。人はそんな森林に護られ、また森林を守りその生を繋げてきました。

そのような森林の木材で作られた玩具を使って遊び、子供の頃から木のぬくもりを感じることによって、森林や自然を大切に作る心を育み、人も自然の一員であることを実感できる「木育(もくいく)」を親子で始める取り組みを進める。

### 事業内容

- (1)実施場所 : 信濃町一円
- (2)対象者 : 信濃町内で生まれた新生児へ贈呈
- (3)実施方法 : 町内産の木材を利用した玩具を作製し、親子に贈呈する。
- (4)事業目標及び当年度事業量
  - ①全体計画(令和2年度~令和4年度)約100個作製
  - ②令和4年度 45個作製





## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

木材を利用することで森林の手入れや再造林も進み、木材は、持続可能で環境にやさしい資源であり、暮らしの中に木を取り入れることは、環境を守るために大きな役割を担うこととなります。

### (2) 継続性

子供の頃から木材に親しみ親子で森林の大切さを継続的に育んでいくことが期待できる。

### (3) 普及性

町内の新生児と親に対し、このような取組みをすることによって、地域住民の身近なところでの木材利用となるため、PR効果は高い。

## 事業の検証及び評価

### (1) 目標に対する成果の状況

令和4年度事業として、町内産の木材を利用した玩具を45個作製し、親子に贈呈することができました。

### (2) 課題

すべて手作りと言うこともあり、作成には相当な時間と労力を要します。仕上げに関連したやすり掛け等については、町内の介護施設等高齢者に作業をお願いしている部分もあります。今後についても、思いのこもった玩具の製作ですので、より町内多くの方々の力を借りて事業を継続したい。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する。

事業を継続する

事業を継続しない

(別記様式第 15 号)

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

飯綱町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	野生鳥獣の緩衝帯整備
事業費		706,200 円 (うち支援金: 580,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

農地に近い里山で野生鳥獣の出没が多く、農作物被害が多発しており、課題となっている。

(2) 本事業の目的

農作物被害を防ぐため、緩衝帯整備(間伐・藪払い)を行う。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所: 倉井地区

(2) 対象者: 飯綱町(地区住民及び地区耕作者を主体)

(3) 実施方法: 町が業者に依頼し緩衝帯整備(間伐・藪刈り)を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30~令和 4 年度) 町内 5ha(1ha×5 年)

②令和 4 年度実績 倉井地区 5,000 m<sup>2</sup>



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

集落や農地に近い里山の目に見える部分の緩衝帯整備(間伐・藪刈り)を実施することで、野生鳥獣が出没しにくい環境をつくり、被害防止に繋げる。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

農作物に対する野生鳥獣被害は、森林との隣接地を主体に飯綱町全体に及んでおり、継続し実施する必要性がある。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

農作物に対する野生鳥獣被害対策は、住民にとって大きな課題であり、集落周辺の見える場所で実施することにより住民へのPR効果は高い。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

事業実施場所周辺での野生鳥獣による農作物被害の軽減に期待したい。

地域の課題となっている、野生鳥獣被害対策を住民の身近な個所で実施することはPR効果が高い。

### (2) 課題

野生鳥獣との共存を含め、野生鳥獣被害対策は町内全体の課題であり、町内全体に対する引続き対策の実施が課題。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

平成30年度に計画した区域が今年度で終了した為。

## 令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

小川村

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	薪ストックヤード設置事業
事業費 2,057,000円 (うち支援金: 647,000円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林では切捨て間伐材が未だ多く発生しており、森林資源の成熟に反して森林整備、地域資源の利用が遅れている状況となっている。また住民レベルでの間伐材搬出も十分とはいえない状況である。供給側では村内の未利用資源の搬出のための方策を検討すること、また、利用側では木質バイオマス燃料の需要を増加させていくことが現状の課題となっている。

#### (2) 本事業の目的

##### (1) の課題への対応方向について記載

切捨て間伐材から搬出間伐材への転換、地域住民による搬出促進を図り、成熟してきた村内森林資源のさらなる利活用のための仕組みを構築する。

木質バイオマス需要の創出に向けて、安定的に供給力を高めていくため、C材ステーションの事業の拡大、及び需要に応じた新たな燃料の製造を検討していく。(1) 地域の森林・林業の現状と課題

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 : 小川村大字小根山 (千原地籍)

(2) 対象者 : C材ステーション利用者

(3) 実施方法 : 県産材を利用した薪ストックヤードを設置する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

#### ①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度)

平成 30 年度 : にこにこ保育園 キッズハウス等

令和 元年度 : 木製バス停・ベンチ製作

令和 2 年度 : 林りん館 ウッドボイラー購入

令和 3 年度 : 木製バス停製作

令和 4 年度 : 薪ストックヤード設置

#### ②令和 4 年度実績

薪ストックヤード設置 1 棟

## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

間伐材利用の推進、間伐材利用の啓発、県産材資源のPR、森林税のPR

### (2) 継続性

C材ステーションで製造した薪は、主に「おがわの湯」への供給となっているが、その他にも役場をはじめとした村内の施設で、薪ストーブの燃料として利用されている。

今後も収集した原木を薪に加工・確保することにより安定的に供給できる。

### (3) 普及性

切捨間伐から搬出間伐への転換、地域住民・林業事業者による搬出を促進できる。

公共施設の木質バイオマスボイラーの導入により、地域で資源の循環利用に取り組み、CO<sub>2</sub>の削減につなげていくことが期待できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

薪ストックヤードを設置することにより、雨風をしのぐ場所を確保できることにより、薪に加工した材を安定的に供給できる。

利用者に対して木のぬくもりを与えることができ、県産材のPRができる。

### (2) 課題

事業目標の全体事業計画を変更したが、今後は切捨間伐から搬出間伐への転換、地域住民・林業事業者による搬出を促進していくことが必要である。

さらに、供給側では村内の未利用資源の搬出のための方策を検討すること、また、利用側では木質バイオマス燃料の需要を増加させていくことが直近の課題となる。

### (3) 今後の取組方向 (今後の事業実施見込について記載)

今後は、県産材の有効活用として、保育園及び小学校への木製遊具等の整備を検討していきたい。



## 5 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証

森林づくりや県産材利用などへの理解と協力を得るための普及、県民参加による事業実施の成果の検証などを実施しました。

### 【長野地域会議】

県民や企業の代表等からなる長野地域会議を設置し、長野県森林づくり県民税を財源とした施策のあり方や毎年度の事業内容及び目標、事業実施後の成果の検証及び評価を行っています。

開催日	内 容
R4. 8. 22	<会場> 長野合同庁舎（W e b 併用） <会議内容> 令和3年度森林税活用事業の実績、令和4年度森林税活用事業の実績見込み及び次期森林づくり指針について
R5. 2. 1	<会場> 長野合同庁舎（W e b 併用） <現地視察> OYAKI FARM（長野市篠ノ井杵淵） <会議内容> 令和4年度森林づくり県民税活用事業の実施見込み、次期森林税に関する基本指針について